

2 / 23 (金)

宮の納入金

マタイによる福音書一七章22～27節

しかし、彼らをつまずかせないようにしよう。湖に行つて釣り針を垂れなさい。……それを取つて、私とあなたの分として納めなさい。(27)

エルサレム神殿のための納入金を集める人たちがペトロのところに来て、「あなたがたの先生は神殿税を納めないのか」(24)と尋ねました。主イエスはこの納入金について、神の子であるご自分は本来、神の家である宮の納入金を納める必要はないことを明らかにされた上で、「彼らをつまずかせないように」と言われて、支払う義務のない納入金をあえて支払われました。不必要な誤解や衝突を避けるために、ユダヤ人としての義務を果たす道を選ばれたのです。これは信仰においても多少の妥協は必要だというのではなく、永遠の命に直接関係のないことであるならば、潔く他者に譲る自由、愛の配慮を示されたのです。妥協か、それとも愛の配慮か、これは私たちの生活においても生じる問題です。神が私たちに知恵を与えてくださり、最善の道を選び取っていくことができますように。